

## 自分のなかにある新しい自分を見つける

始業式・入学式から2週間が経過しました。1年生は少しずつ中学校生活に慣れてきたようです。部活動の体験もはじまっています。毎日の学校生活の中では、全校生徒が元気に頑張っている様子が多くの場面で見られます。毎朝、朝読書から一日がはじまり、集中して授業に取り組んでいます。帰りの会ではフリートーク等を行い、放課後は3年生のリーダーシップのもと、間近に迫った支部選手権大会や交流試合等（今年度から野球・ソフトテニス・バスケット・女子バレーについては昨年度までの支部選手権大会県大会の1回戦・2回戦となっています。他の競技は交流試合となります。）のためにということもありますが、部活動に熱心に取り組んでいる姿が見られます。

さて、中学校時代は年齢的にも激動の時だと言われています。文豪のゲーテは、それを『疾風怒濤（しっぷうどとう）』という言葉で表現しています。中学生は無限の可能性を持っているとも言われています。しかし、その言葉はよい可能性だけを意味しているものではありません。その逆の可能性も含んでいるとも言われています。今の中学校時代をどう生きるかは今後の人生にも大きな影響を与えます。だからこそ、敷島中学校の全校生徒にとって、今、このときは、一生を左右しかねない大切な岐路と言えます。中学校生活では、社会で生きて行くための土台を本気になって築かなければならない大切な時期なのです。そんな大切なときだからこそ、みなさんには「1年後の自分像」を見据えて今の生活を考えてほしいと願っています。

### 中学校で君たちがやることは

「自分のなか」にある「自分の知らない自分」を見つけていくことなんだ  
さわやかなあいさつができる自分

「ハイッ!」としっかり返事ができる自分

その返事に心をこめることができる自分

宿題をやりぬける自分

授業に集中し、頑張ることができる自分

清掃にしっかりと取り組める自分

自己を見つめ、毎日の生活記録ノートにしっかりと書いて提出できる自分

夢や目標に向かって前進する自分

### 君のなかにもきっとあるにちがいない

そんな自分を見つけていくんだ

たった一度しかない中学校生活、縁あって出会いがあり、この一年を共に過ごすことになった先生方や仲間と新しい環境・教室で、自分を大きく変えてみませんか。自分を変える・・・、つまり成長すること。そして自分のなかにある新しい自分を見つけるということ。今日も授業や清掃などに取り組むみなさんの姿は立派でした。大きく成長するみなさんは、全員が可能性の塊です。

(写真はいずれも3年生です。一生懸命に取り組む姿が印象的でした)



## 「多様性や利便性を兼ね備えた制服」の導入について

### <これまでの経緯>

本校では、昨年度の2月21日(水)5校時に、「ジェンダー平等」について理解を深め、「人権」について考えることを目的に、全校道徳を行いました。内容は、前半は養護教諭の望月先生が「違いを認め合い、一人一人を大切に」というテーマで、授業をしてくださいました。続いて、私からは「一人一人が大切にされる学校を目指して」というテーマで、今後の敷島中学校の在り方、進み方(学校経営)について、私の想いを伝えさせていただきました。

学校として、今回変えていく必要があると判断したことが「制服の問題」です。現在、敷島中では、校則で男子は学生服、女子はセーラー服となっています。これらを義務づけていて、個人による選択の余地はありません。また、温度調節(暑さ対策や防寒対策)、動きやすさといった「利便性」は十分と言えるでしょうか?そこで、これを機に取り組んできたのが「**多様性や利便性を兼ね備えた制服**」の導入です。全校道徳後の全校生徒対象のアンケートでは、「多様性や利便性を兼ね備えた制服」の導入について「賛成・やや賛成」と回答した生徒の割合は98.8%でした。また、3月13日(水)に1年生(新2年生)の保護者の皆様方へ、翌14日(木)には2年生(新3年生)の保護者の皆様方対象に説明をさせていただきました。その後の保護者対象アンケートで、「多様性や利便性を兼ね備えた制服」の導入について「賛成・やや賛成」と回答していただいた保護者の方の割合は95.7%でした。

そこで、過日通知させていただいたように、「多様性や利便性を兼ね備えた制服」導入に対し、賛同が得られたと判断し、今後来年度からの導入に向けて、寄せられたご意見等もしっかりと受けとめながら進めていきたいと考えました。また、昨年12月の三者懇談の折に、投票していただいた制服の業者選定ですが、62%の支持がありました「山梨官公学生服」様に決定しました。今後「多様性や利便性を兼ね備えた制服」の導入についての情報提供を随時行っていきたくと思います。また、1年生の保護者の皆様方には、5月1日(水)の学年懇談会の折に、お話しをさせていただきます。今後もご意見をいただく機会があると思いますので、ご協力をお願いいたします。なお、制服については、様々な考えがあったり、家庭の経済的負担を伴ったりすることから校内に検討委員会を立ち上げており、検討委員会のなかで話し合い、提案していくようにしています。

具体的には、男女ユニセックスデザインの「**男女兼用型**」であり、スカートやスラックスが選べる「**組み合わせ型**」の制服を令和7年度の新入生から導入します。また令和10年度までの4年間を移行期間とし、新旧両方の着用を可能とします。在校生のみなさんについても令和7年度から着用することができます。3年生にとっては自分たちが直接着用しない制服への取組となるかも知れませんが、この取組を通して、**全校生徒のみなさん一人一人が「未来の創り手**」となり、敷島中がこれからさらに「一人一人が大切にされ、活気のある学校」となるよう一緒に考えてほしいと思います。

### <「多様性や利便性を兼ね備えた制服」のデザイン等の決定について>

来年度からの導入ではありますが、業者との関係でスケジュール的には非常にタイトとなっており、新しい制服のデザインやエンブレムを検討委員会を開き、写真のようなものと決定させていただきました。今週から校内に展示したいと思います。今後の予定ですが、夏服についての検討、学校生活の約束事についても検討委員会での原案づくりを行いながら、生徒会本部と一緒に検討をしていきます。また、全校生徒がきまりについて検討していく活動を通して、社会に認められる人間になるためにはどうあるべきかを考える機会としてほしいと思います。

